

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 8 月 30 日(2022.8.30)

【公開番号】特開 2022-36222(P2022-36222A)

【公開日】令和 4 年 3 月 4 日(2022.3.4)

【年通号数】公開公報(特許)2022-039

【出願番号】特願 2022-2751(P2022-2751)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 8 月 22 日(2022.8.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

抽選条件の成立に基づいて抽選を実行する抽選手段と、その抽選手段による抽選結果を示す識別情報が表示される表示手段と、その表示手段に所定の抽選結果であることを示す前記識別情報が表示されたことに基づいて特典遊技を実行する特典遊技実行手段と、その特典遊技実行手段により実行される特典遊技において遊技球が入球し難い閉鎖状態から入球し易い開放状態に可変可能な可変入賞手段と、を備える遊技機において、前記特典遊技に関わる遊技態様の違いに基づいて、複数種類の演出を実行することが可能な演出実行手段を備え、

前記可変入賞手段は、前記特典遊技における所定条件の成立に基づいて開閉し、前記可変入賞手段に入球した遊技球であって、前記可変入賞手段の前記開放状態に状態変化させる回数と対応した対応個数の遊技球を演出領域へ入球させうる開閉手段と、
所定期間に前記演出領域に前記対応個数の所定倍数の遊技球が入球した場合に、前記演出領域に入球した遊技球を検出可能な入球検出手段と、を備えることを特徴とする遊技機。

30

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

40

ここで、パチンコ機等の遊技機において、所定の特典遊技において、賞球を払い出しうる遊技機がある（特許文献 1）。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

しかしながら、上述した従来の遊技機では、特典遊技の実行態様に改良の余地があるという問題点があった。

50

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、上記例示した問題点を解決するためになされたものであり、特典遊技の実行態様の良好な遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

この目的を達成するために請求項1記載の遊技機は、抽選条件の成立に基づいて抽選を実行する抽選手段と、その抽選手段による抽選結果を示す識別情報が表示される表示手段と、その表示手段に所定の抽選結果であることを示す前記識別情報が表示されたことに基づいて特典遊技を実行する特典遊技実行手段と、その特典遊技実行手段により実行される特典遊技において遊技球が入球し難い閉鎖状態から入球し易い開放状態に可変可能な可変入賞手段と、を備える遊技機であって、前記特典遊技に関わる遊技態様の違いに基づいて、複数種類の演出を実行することが可能な演出実行手段を備え、前記可変入賞手段は、前記特典遊技における所定条件の成立に基づいて開閉し、前記可変入賞手段に入球した遊技球であって、前記可変入賞手段の前記開放状態に状態変化させる回数と対応した対応個数の遊技球を演出領域へ入球させうる開閉手段と、所定期間に前記演出領域に前記対応個数の所定倍数の遊技球が入球した場合に、前記演出領域に入球した遊技球を検出可能な入球検出手段と、を備える。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

請求項1記載の遊技機によれば、特典遊技の実行態様を良好にすることができる。

10

20

30

40

50